

岩手県東日本大震災津波復興計画 復興基本計画（案）の変更箇所一覧

平成 23 年 8 月 3 日現在

頁数	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
表紙	4 行目	～いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造に向けて～	～いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造～	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 「向けて」は、当事者間的ではなく、他人事のような表現であるので、「目指して」などに表現を代えるべき。
目次	第 4 章 2 主な取組内容	<p>≪「暮らし」の再建≫Ⅱ保健医療・福祉</p> <p>≪「なりわい」の再生≫Ⅱ経済産業</p>	<p>≪「暮らし」の再建≫Ⅱ保健・医療・福祉</p> <p>≪「なりわい」の再生≫Ⅱ商工業</p>	個別具体的な取組レベルでは「保健」と「医療」が分かれるものもあり、統一して区分した方がわかりやすいと判断したものの 文言精査による修正
目次	第 6 章 附属資料	<p>復興に向けた連携等</p> <p>附属資料</p>	<p>復興の進め方</p> <p>附属資料</p> <p>付録 用語説明</p>	タイトルを変更して内容を一致させるもの 用語説明を追加
2	2 計画の役割 10 行目	（４）岩手県としての復興の方向性と取組を明らかにし、国に対して、必要な復興事業の推進や支援を要請する計画である。	（４）岩手県としての復興の方向性と取組を明らかにし、国に対して、必要な復興事業の推進や支援を提案・要望する計画である。	この計画案等に基づき、県として様々な機会を捉えて提案・要望を行ってきていることから、表現を変更するもの。 【復興委員会委員の意見】 県として、国への要請ではなく、提案を行ってきている実績を踏まえた表現とすべき。
3	4 計画の期間 1 行目	この計画は、平成 31 年度に策定が予定される県の次期総合計画を見据え、平	この計画は、 <u>本県における迅速な復興の推進</u> とともに、平成 31 年度に策定が	復興計画の計画期間を 8 年とした理由を明確にするため、「本県における迅速

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
		成23年度から平成30年度までの8年間を全体計画期間とする。	予定される県の次期総合計画を見据え、平成23年度から平成30年度までの8年間を全体計画期間とする。	な復興の推進とともに、」との文言を追加するもの。
3	4 計画の期間 7行目	このうち、特に第1期復興実施計画の期間を基盤復興期間と位置付け、特に集中的な復興の取組を行う。	このうち、第1期復興実施計画の期間を基盤復興期間と位置付け、特に集中的な復興の取組を行う。	【文言整理】 （「特に」の重複の解消）
5	1 地震及び津波の概要 1行目	三陸沖（北緯 38.1 度、東経 142.9 度）を震源とする、	三陸沖（北緯 38.1 度、東経 142.5 度）を震源とする、	最新データに更新
5	1 地震及び津波の概要 5行目	大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市で震度6弱を観測	大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市、 <u>藤沢町</u> で震度6弱を観測	最新データに更新
5	1 地震及び津波の概要 11～12行目	大船渡市、釜石市、矢巾町、一関市、奥州市での震度6弱をはじめ、	大船渡市、釜石市、矢巾町、一関市、 <u>平泉町</u> 、奥州市での震度6弱をはじめ、	最新データに更新
5	表1	（略）	（略）	最新データに更新
6	1行目	2 被害の状況（平成23年 <u>6月6日</u> 現在）	2 被害の状況（平成23年 <u>7月25日</u> 現在）	最新データに更新
6	4～5行目	人的被害は合計で <u>7,517 人</u> 、水産業をはじめとした産業被害が <u>4,795 億円</u> 、公共土木被害が <u>2,567 億円</u> となっている。	人的被害は合計で <u>6,878 人</u> 、水産業をはじめとした産業被害が <u>6,087 億円</u> 、公共土木被害が <u>2,573 億円</u> となっている。	最新データに更新
6	表2	（略）	（略）	最新データに更新
6	12～13行目	人的被害は、合計で <u>7,517 名</u> となっており、本県の人口の <u>0.6%</u> 、沿岸地域の人口の <u>2.7%</u> が被害を受けた。	人的被害は、合計で <u>6,878 人</u> となっており、本県の人口の <u>0.5%</u> 、沿岸地域の人口の <u>2.5%</u> が被害を受けた。	最新データに更新

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
7	表3	(略)	(略)	最新データに更新
7	(2) 家屋被害 1～2 行目	家屋被害は、 <u>全壊・半壊が 23,756 棟にのぼっている。ほとんどが津波による被害であり、</u>	家屋被害は、 <u>29,544 棟にのぼっており、このうち、全壊・半壊は 24,534 棟となっており、ほとんどが津波による被害である。</u>	最新データに更新
7	(2) 家屋被害 4～8 行目	避難者数は、 <u>発災直後に約5万2千人に及んだ。平成 23 年6月6日現在、約2万4千人の避難者がおり、うち約1万人がいまだ避難所生活を強いられている。</u>	避難者数は、 <u>3月15日の約4万8千人をピークとし、平成23年7月25日現在、4,892人が避難所生活又は物資等の支援を受けている状況にある。</u> <u>一方、応急仮設住宅は、平成23年7月25日現在、設置目標の93パーセントが完成し、避難所から応急仮設住宅への入居も進んできている。今後、沿岸市町村では、応急仮設住宅の完成状況も見ながら、避難所の解消を進めていくこととしている。</u>	最新データに更新。 併せて、避難者の生活状況の変化を明らかにするため、応急仮設住宅の整備状況について追記。
7	(3) 産業被害 1～3 行目	産業被害は、全体で <u>4,795 億円</u> となっている。内訳をみると、水産業・漁港被害が漁港や漁船、養殖施設、水産加工施設など全般にわたる被害でおよそ <u>2,360 億円</u> と最も甚大で、次いで、工業（製造業）被害が 890 億円、農業被害が <u>581 億円</u> 、商業（小売・卸売業）が 445 億円	産業被害は、全体で <u>6,087 億円</u> となっている。内訳をみると、水産業・漁港被害が漁港や漁船、養殖施設、水産加工施設など全般にわたる被害でおよそ <u>3,587 億円</u> と最も甚大で、次いで、工業（製造業）被害が 890 億円、農業被害が <u>589 億円</u> 、商業（小売・卸売業）が 445 億円	最新データに更新
7	(3) 産業被害 5～6 行目	震災発生直後から平成23年 <u>5月26日</u> までに、沿岸4か所の公共職業安定所にお	震災発生直後から平成23年 <u>7月24日</u> までに、沿岸4か所の公共職業安定所にお	最新データに更新

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
		ける離職票等の交付件数は <u>11,391 件</u>	ける離職票等の交付件数は <u>12,711 件</u>	
8	4～7 行目	<p>公共土木施設被害は、全体で <u>1,619 か所、約 2,567 億円</u>となっている。そのうち、津波被害を受けた海岸施設等の被害が特に甚大であり、被害額は約 <u>1,367 億円</u>となっている。他にも港湾施設が約 <u>367 億円</u>、下水道施設が約 <u>312 億円</u>、道路施設が約 <u>251 億円</u>の被害額となっている。</p> <p>また、<u>3月11日以降に発生した余震等により、内陸地域の道路施設を中心に被害箇所が増加している。</u></p>	<p>公共土木施設被害は、全体で <u>2,752 か所、2,573 億円</u>となっている。そのうち、海岸施設の被害が特に甚大であり、被害額は <u>1,289 億円</u>となっている。次いで、<u>港湾施設が 445 億円、下水道施設が 306 億円、道路施設が 252 億円</u>の被害額となっており、<u>東北地方太平洋沖地震に加え、断続的に発生した余震等により、内陸地域の道路施設を中心に被害が増大した。</u></p>	最新データに更新 文言精査による修正
8	表 4	(略)	(略)	直近の「被害状況」から「復旧状況」へ変更したこと。
9	■人口等の現況	(記載なし)	※ <u>人口等の現況は、全国との比較が可能な平成17年度国勢調査データによる。</u>	本文の人口データを H22 国勢調査確報に変更。ただし、被災 3 県以外の国調確報が公表されていないことから、比較は H17 国調であることを明確にしたこと。
10	■地域産業等の特徴 11 行目	豊富な水産物等に直接触れることができる <u>グリーン・ツーリズム</u>	豊富な水産物資源を活用した <u>グリーン・ツーリズム</u>	文言精査による修正
12	復興に向けた3つの原則の図、「暮らし」の再建	さらに、医療・福祉・介護体制など、生命と心身の健康を守るシステムの <u>再構築</u> や、地域コミュニティ活動への支援などにより	さらに、医療・福祉・介護体制など、生命と心身の健康を守るシステムや <u>教育環境の再構築</u> 、地域コミュニティ活動への支援などにより	・「暮らし」の再建の説明に教育に関わる記載がないこと 【復興委員会委員の意見】 教育に関わる記載を盛り込むべき。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
12	脚注	「なりわい」とは、本計画では、 <u>農業、漁業、林業、建設業、製造業、商業、サービス業など生計を立てていくための職業や営みをいう。</u>	(削除)	用語説明については、附属資料に整理
13	ア 海岸保全施設の整備 4～5行目	この場合、 <u>過去に発生した津波等を地域ごとに検証し、概ね百数十年程度で起こり得る津波高さを海岸保全施設の整備目標とする。</u>	この場合、 <u>海岸保全施設の整備目標は、過去に発生した津波等を地域ごとに検証し、概ね百数十年程度の頻度で起こり得る津波に対応できる高さとする。</u>	分かりやすい表現に修正 女性による意見交換会での意見を反映 【意見交換会での意見】 百数十年の期間内に津波対策をするのだと勘違いする人がいる。
13	ア 海岸保全施設の整備 6行目	<u>防潮堤や湾口防波堤、水門、陸こうなど海岸保全施設の整備に当たっては、</u>	<u>湾口防波堤や防潮堤、河川堤防、水門、陸こうなど海岸保全施設の整備に当たっては、・・・</u>	海岸保全施設の配置順に並べ替えるとともに、河川堤防を追記
14	イ 「防災文化」の醸成と継承 1行目	<u>震災の経験や教訓を後世に語り継ぐためには、</u>	<u>今回の大震災津波の経験や教訓を後世に語り継ぐためには、</u>	文言整理
15	3 まちづくりのランドデザイン 1行目	まちづくりのランドデザインは、その地域の <u>地理的・社会的条件や被災状況</u> に応じたものでなければならず、	まちづくりのランドデザインは、その地域の <u>歴史や文化、地理的・社会的条件</u> や被災状況に応じたものでなければならず、	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 「その地域の地理的・社会的条件や・・・」について、「その地域の歴史や文化、地理的・社会的条件や・・・」とすべき。
17	表1 防災のまちづくりのツールの表中	施設等 <u>防潮堤</u> <u>湾口防波堤</u> <u>河川堤防</u> 考え方 <u>・防潮堤、湾口防波堤は、</u>	施設等 <u>湾口防波堤</u> <u>防潮堤</u> <u>河川堤防</u> 考え方 <u>・湾口防波堤、防潮堤は、・・・</u>	海岸保全施設の配置順に並べ替え。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
17	表1 防災のまちづくりのツールの表中	施設等 (災害弱者施設) 考え方 ・病院や学校、福祉施設等の災害弱者のいる施設は、	施設等 (災害弱者施設) 考え方 ・病院や学校、福祉施設等の災害弱者のいる施設においては、	文言整理
18	表1 防災のまちづくりのツールの表中	施設等 農地 考え方 ・防潮堤と市街地の間の緩衝帯となる。	施設等 農地 考え方 ・防潮堤と市街地、集落における住宅地との間の緩衝帯となる。	集落の居住地を防護するということを追記
22	3行目	「保健医療・福祉」	「保健・医療・福祉」	個別具体的な取組レベルでは「保健」と「医療」が分かれるものもあり、統一して区分した方がわかりやすいと判断したもの
22 50	4行目 標題	「経済産業」	「 <u>商工業</u> 」	文言精査による修正
22	4行目	、今後8年間の具体的な取組の内容とその考え方を本章で示す。	、 <u>計画期間内</u> における具体的な取組の内容とその考え方を本章で示す。	文言精査による修正
22	6行目 11行目	本章2では、それぞれの分野の・・・ 、 <u>本章3</u> にその全体を掲げる。	本章の2では、それぞれの分野の・・・ 、 <u>本章の3</u> にその全体を掲げる。	文言整理
23	【参考】復興への あゆみと計画の関 係 「安全」の確保の2 段目の矢印	(記載なし)	<u>放射線量の測定など監視体制の充実強化及び安全対策の強化</u>	審議会等の意見を踏まえて、復興への歩みに追記
23	【参考】復興への あゆみと計画の関	災害公営住宅等の公的賃貸住宅の供給	災害復興公営住宅等の公的賃貸住宅の供給	文言整理

頁数	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	係 「暮らし」の再建 1段目の矢印			
23	【参考】復興への あゆみと計画の関 係 「暮らし」の再建	・ <u>新たな産業分野に対応した職業訓練の 実施</u>	・ <u>職業訓練等の実施による新たな産業分 野に対応する人材の育成</u>	文言精査による修正
23	【参考】復興への あゆみと計画の関 係 「暮らし」の再建	(記載なし)	<u>学校施設の復旧整備等</u>	審議会等の意見を踏まえて、復興への歩 みに追記
23	【参考】復興への あゆみと計画の関 係 「暮らし」の再建	(記載なし)	<u>児童生徒の心のサポートと「いわての復 興教育」の推進</u>	復興への歩みに追記 【復興委員会委員の意見】 教育に関わる記載を盛り込むべき。
24 56	「災害に強く安全 で安心な暮らしを 支える防災都市・ 地域づくり」 緊急的な取組	(記載なし)	・ <u>原子力発電所事故に伴う放射線量の測 定など監視体制の充実・強化及び放射性 物質に係る健康不安の解消など安全対 策の推進</u>	取組の追加（地域説明会等の対応） 【地域説明会での意見】 原発事故についての対応について記載 すべき。
24 56	「災害に強く安全 で安心な暮らしを 支える防災都市・ 地域づくり」 短期的な取組	津波防災を考慮し、まちづくりと一体と なった JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	津波防災を考慮し、まちづくりと一体と なった <u>道路</u> 、JR 及び三陸鉄道の復旧・整 備	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 短期的な取組に道路の嵩上げによる整 備を追加すべきでは。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
25	中期的な取組 8 行 目	太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを <u>活用し</u> 、非常時においても一定のエネルギーを賄えるシステムの導入促進	本県に <u>豊富に賦存する太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを最大限活用するとともに、それらのエネルギーにより、防災拠点や住宅・事業所等</u> が非常時においても一定のエネルギーを賄えるシステムの導入促進	県議会、パブリックコメント等の意見の対応
25	復興への歩み 表中	津波防災を考慮し、まちづくりと一体となった JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	津波防災を考慮し、まちづくりと一体となった <u>道路</u> 、JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	パブリックコメントの意見を反映 【パブリックコメントの意見】 短期的な取組に道路の嵩上げによる整備を追加すべきでは。
25	復興への歩み 表中	再生可能エネルギーを <u>活用し</u> 、非常時においても一定のエネルギーを賄えるシステムの導入促進	再生可能エネルギーの <u>活用及び非常時</u> においても一定のエネルギーを賄えるシステムの導入促進	文言精査による修正
26	概要	震災の記憶を未来に語り継ぐため「防災文化」を醸成し・・・	今回の大震災津波の記憶を未来に語り継ぐため「防災文化」を醸成し・・・	文言精査による修正
26	中期的な取組 1 行 目	震災の記憶を未来へ語り継ぎ故郷への思いを継承するイベントの実施や・・・	今回の大震災津波の記憶を未来へ語り継ぎ故郷への思いを継承するイベントの実施や・・・	
27	幹線道路ネットワーク図		差し替え	
28 57	「災害に強い交通ネットワークの構築」 短期的な取組	・・・(三陸縦貫自動車道などの三陸沿岸地域の縦断軸、東北横断道釜石秋田線などの内陸と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸)	・・・(三陸縦貫自動車道、 <u>三陸北縦貫道路</u> 、八戸・久慈自動車道の三陸沿岸地域の縦貫軸、東北横断道釜石秋田線、 <u>宮古盛岡横断道路</u> の内陸と三陸沿岸地域を	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 交通ネットワークの構築で、三陸縦貫自動車道の表記が強調され、全般的に視点

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
			結ぶ横断軸)	が沿岸南部に偏っているように見える。
28 57	「災害に強い交通ネットワークの構築」 短期的な取組	・津波防災を考慮し、 <u>新たなまちづくり</u> と一体となった JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	・津波防災を考慮し、まちづくりと一体となった <u>道路</u> 、JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 短期的な取組に道路の嵩上げによる整備を追加すべきでは。 ・新たなを削除
29	復興への歩み 表中	津波防災を考慮し、まちづくりと一体となった JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	津波防災を考慮し、まちづくりと一体となった <u>道路</u> 、JR 及び三陸鉄道の復旧・整備	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 短期的な取組に道路の嵩上げによる整備を追加すべきでは。
28 57	「災害に強い交通ネットワークの構築」 短期的な取組	いわて花巻空港の災害対応機能の強化（ <u>非常用電源、ターミナル機能等の充実</u> ）	いわて花巻空港の災害対応機能の強化（削除）	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 パブコメでは空港の対策を不要とする意見、災害対応での存在意義を認め花巻空港のあり方を明確に打ち出すべきとの意見が出されましたが、今後の災害対応の検証の中で、具体的取組が決まってくることから、現段階では記述出来ないのので（ ）を削除する。
28 29	中期的な取組 6 行 目 復興への歩み 表中	いわて花巻空港の航空ネットワークの <u>充実</u>	（削除）	・災害に強い交通ネットワークづくりとの関連性が薄いことから削除 ・航空ネットワークの充実については、災害対応という観点ではなく、県内の産業や観光の回復の動きと連携して一般的な取り組みとして行っていくもので

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
				あるため、項目から削除する。
30	基本的考え方 5 行 目	、安定的な雇用の場を創出する。	、 <u>女性・高齢者・障がい者・若者</u> を含め安定的な雇用の場を創出する。	大震災津波の発生により、「社会的排除」のリスクが高まる恐れがあり、高齢者や障がい者、女性、外国人、子ども、若者等を含めた社会的包摂の考え方を踏まえた復興の施策展開が必要である。 【パブリックコメントへの対応】 復興のあらゆる分野に男女共同参画をはじめとする人の多様性の視点を盛り込むべき。
30	図	災害公営住宅	災害 <u>復興</u> 公営住宅	文言整理
31 58	「被災者の生活の安定と住環境の再建等への支援」 緊急的な取組	義援金、被災者再建支援金等による生活支援	義援金、被災者 <u>生活</u> 再建支援金等による生活支援	文言整理
31	復興への歩み 表中	(記載なし)	「 <u>被災者の生活の再建に向けた相談支援</u> 」の取組追記	取組追記
31	復興への歩み 3 段 目の矢印	平成 23 年 <u>7</u> 月上旬までに応急仮設住宅の建設を完了	平成 23 年 <u>8</u> 月上旬までに応急仮設住宅の建設を完了	最新データに更新
31	復興への歩み 表中	災害公営住宅	災害 <u>復興</u> 公営住宅	文言整理
32	概要	、雇用の維持と産業振興による雇用の創出に <u>努めるとともに</u> 、・・・	、雇用の維持と産業振興による雇用の創出を <u>図るとともに</u> 、・・・	文言精査による修正
32	「雇用維持・創出	被災した離職者等を受け入れる企業の	被災した離職者等を受け入れる企業の	文言精査による修正

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
58	と就業支援」 短期的な取組	確保支援や、・・・	確保に向けた支援や、・・・	
33	・タイトル ・基本的考え方5行目 ・概要3行目 ・イメージ図タイトル	保健医療・福祉	保健・医療・福祉	個別具体的な取組レベルでは「保健」と「医療」が分かれるものもあり、統一して区分した方がわかりやすいと判断したものの
33	基本的考え方 4行目	新たなまち（ <u>地域社会</u> ）	新たなまちづくり	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 「新たなまち（地域社会）」を「新たなまちづくり」の表現と統一すべき。
33	概要 1～2行目	被災者の心身の健康を守るため、被災した医療提供施設及び <u>社会福祉施設</u> 等の機能の回復を図るとともに、	被災者の心身の健康を守るため、被災した病院や診療所等の医療提供施設及び <u>高齢者・障がい者（児）福祉施設、保育所</u> 等の機能の回復を図るとともに、	文言精査による修正
33	イメージ図 施設名（在宅ケア～の箇所）	在宅ケア・訪問看護・居宅介護サービス事業所等	在宅ケア・訪問看護・居宅介護サービス事業所・ <u>小規模多機能型居宅介護事業所</u> 等	事業所名の追加
34	緊急的な取組1行目	医療提供施設及び <u>社会福祉施設</u> 等の機能回復を図るため、	<u>病院や診療所等の医療提供施設及び高齢者・障がい者（児）福祉施設、保育所</u> 等の機能回復を図るため、	文言精査による修正
34	・中期的な取組3行目 ・復興への歩みタ	保健医療・福祉	保健・医療・福祉	個別具体的な取組レベルでは「保健」と「医療」が分かれるものもあり、統一して区分した方がわかりやすいと判断し

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	イトル ・復興への歩み 6 段目の矢印			たもの
34	中期的な取組 5 行目	高齢者が <u>住み慣れた地域</u> で安心して生活できる地域包括ケアシステムの構築	高齢者等の <u>要援護者</u> が地域で安心して生活できる <u>保健・医療・福祉の連携</u> による地域包括ケアシステムの構築	医療分野専門家会議での意見を反映
34	復興への歩み 3 段目の矢印	<u>介護、訪問看護等の</u>	<u>相談、デイサービス、訪問介護・看護、生活支援等を包括的に提供する</u>	市町村におけるサービス提供実態に合わせて修正するもの
34	復興への歩み 5 段目及び 7 段目の矢印	<u>障がい者</u>	<u>障がい者（児）</u>	文言整理過去の大震災等における記載を参考に修正
35	緊急的な取組 3～4 行目	被災した子どもの不安解消や情緒の安定化を図るとともに、 <u>震災孤児</u> の適切な養育環境を確保	<u>保育所職員等支援者に対する研修の実施や遊び場の提供等により、被災した子どもの不安解消や情緒の安定化を図るとともに、被災孤児の適切な養育環境を確保</u>	・文言精査による修正 ・過去の大震災等における記載を参考に修正
35	・短期的な取組 3 行目 ・復興への歩み 3 段目の矢印	子どものこころのケアセンター（ <u>仮称</u> ）	子どものこころのケアセンター	センターの名称が決定したことによる修正
35	・短期的な取組 5 行目 ・復興への歩み 2 段目の矢印（2 ヲ所）	<u>震災孤児</u>	<u>被災孤児</u>	過去の大震災等における記載を参考に修正
35	・短期的な取組 3 行	「子どものこころのケアセンター（ <u>仮</u> ）	「子どものこころのケアセンター」	センターの名称が決定したため

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	目 ・復興への歩み 3 段 目の矢印	称)」		
35	・中期的な取組 1 行 目 ・復興への歩み 4 段 目の矢印	地域のボランティア等多様な主体の参画による地域ぐるみでの健康づくり活動を推進	行政や公的団体等の取組に加え、地域のボランティア等多様な主体の参画による地域ぐるみでの健康づくり、 <u>栄養、口腔ケア</u> 活動を推進	女性による意見交換会での意見を反映
35	復興への歩み 1 段 目の矢印	矢印の長さ：緊急的な取組	矢印の長さを緊急的な取組から短期的な取組まで延長	女性による意見交換会での意見を反映 【意見交換会での意見】 口腔ケアは肺炎による死亡を防ぐ効果がある。緊急的な取組だけでなく、「短期的な取組」にも入れてほしい。
35	中期的な取組	(記載なし)	・ひとり親家庭等の生活の安定に向けた <u>自立支援</u>	女性による意見交換会での意見を反映 【意見交換会での意見】 母子家庭の母親が働いていた水産加工会社等が流されて職を失い、内陸に職を求めて転居している。母親の雇用対策が大事。
36	基本的な考え方 6 行目	文化芸術活動及び伝統文化等の保存と継承	文化芸術活動の <u>振興</u> や伝統文化等の保存・継承	分かりやすい表現に修正
37 60	「きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実」 ・緊急的な取組	「津波・震災孤児」等の支援のための	<u>大震災津波により親を失った児童生徒等の支援のための</u>	現状に応じた表現に修正
37	短期的な取組 1 行	「いわて子どものこころのサポートチ	「いわて子どものこころのサポートチ	分かりやすい表現に修正

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	目	ーム」による <u>県内公立学校</u> への派遣や「 <u>こころのサポート</u> 」プログラム等の	ーム」の <u>県内公立学校</u> への派遣や、「こころのサポート」プログラム等の	
37	中期的な取組 6 行 目	被災児童生徒が在籍する各 <u>学校</u> 状況に応じた	被災児童生徒が在籍する各 <u>学校</u> の状況に応じた	分かりやすい表現に修正
37	復興への歩み	(記載なし)	・ <u>学校施設の復旧整備と通学手段の確保</u> ・ <u>防災機能を強化した学校施設整備の推進</u>	施設整備関連の取組を追加
38	・概要 1 行目 ・短期的な取組 1 行 目	文化芸術活動の早期復興を図るため、 <u>芸術文化施設</u> 等の・・・ 地域の <u>芸術文化</u> の拠点となる・・・	文化芸術活動の早期復興を図るため、 <u>文化芸術施設</u> 等の・・・ 地域の <u>文化芸術</u> の拠点となる	パブリックコメントの反映、記載内容の統一 【パブリックコメントの意見】 「文化芸術」と「芸術文化」双方の言葉が混在しているので、統一が望ましい。
38	・短期的な取組 2 行 目	(記載なし)	<u>文化芸術の鑑賞機会や交流の場の提供</u> <u>による被災者等の支援</u>	パブリックコメントへの対応、記載内容の追加 【パブリックコメントの意見】 「地域において文化芸術を創造し、享受する活動への支援」を追加してはどうか。
38 61	「文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承」 短期的な取組	(記載なし)	・ <u>地域における文化芸術活動への支援</u>	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 「地域において文化芸術を創造し、享受する活動への支援」を追加してはどうか。
38 61	「文化芸術環境の整備や伝統文化等	<u>被災市町村の復興計画</u> 等に沿った埋蔵文化財調査体制の <u>確立</u> と調査の推進	<u>被災地域の復興</u> に係る開発事業との調整、埋蔵文化財調査体制の <u>確立</u> ・調査の推進	文言精査による修正

頁数	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	の保存と継承」 短期的な取組			
38	復興への歩み 4 段 目の矢印	<u>被災市町村の復興計画等に係る開発事業の早期把握と支援</u> <u>試掘調査結果に基づく発掘調査計画の策定</u>	<u>被災地域の復興に係る開発事業の早期把握と支援</u> <u>埋蔵文化財の試掘調査結果に基づく発掘調査計画の策定</u>	文言精査による修正 分かりやすい表現に修正
39	基本的考え方 6 行目	<u>また、県は、地域住民や「新しい公共」の担い手である NPO・企業・市町村などと協働し、被災地域の住民が主役となって進める復興のまちづくりを支援する。</u>	<u>また、被災地域等の住民、NPO、企業など「新しい公共」の担い手が主役となって市町村と協働して進める復興のまちづくりを支援する。</u>	文言精査による修正
40 62	短期的な取組 ↑ 中期的な取組	(中期的な取組) 「新しい公共」の担い手である NPO や企業等が主体となって取り組む復興活動を支援	(短期的な取組) 中期的な取組から短期的な取組に移記	前倒し実施
40 62	「地域コミュニティの再生・活性化」 短期的な取組	(記載なし)	<u>・ 伝統文化等地域資源を活かした地域づくり活動の支援</u>	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 コミュニティ再生のためのツールとして、地域に古くから伝えられてきた文化は欠かせないもの。また、拠り所でもあり、絆を深めるためにも有効である。「Ⅲ 教育・文化」との整合性をとるためにも「短期的な取組」とすべき。
40	復興への歩み 2 段 目の矢印右のコメント	平成 23 年 <u>7 月</u>	平成 23 年 <u>8 月</u>	生活支援相談員の設置状況に伴う修正

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
40	中期的な取組	・ <u>伝統文化等地域資源を生かした地域づくり活動の支援</u>	(削除)	短期的な取組に前倒し
45 64	「産地魚市場を核とした流通・加工体制の構築」 緊急的な取組		・ <u>放射性物質に係る安全対策と風評被害を払拭するための取組の推進</u>	取組の追加 【パブリックコメントの意見】 酪農において牧草からセシウムが検出されたことへの対応を具体的に示してほしい。農林水産業も同様。
47	緊急的な取組 3 行目	災害廃棄物	災害廃棄物 <u>(がれき)</u>	文言整理
48 65	「地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業の実現」 緊急的な取組		・ <u>放射性物質に係る安全対策と風評被害を払拭するための取組の推進</u>	取組の追加 【パブリックコメントの意見】 酪農において牧草からセシウムが検出されたことへの対応を具体的に示してほしい。農林水産業も同様。
48	中期的な取組 1 行目	園芸産地の形成や、畜産業や食産業等の	園芸産地の形成や、畜産業 <u>・</u> 食産業等の	文言整理
50	基本的考え方	被災地域の経済を支える中小企業等の事業再開や復興に向けた支援を実施し、早期に経済の収縮に歯止めをかけるとともに、新たな商店街の再構築によるにぎわいの回復や地域の特性を生かした産業の振興を支援する。	被災地域の経済を支える中小企業等の事業再開や復興に向けた支援を実施し、早期に経済の収縮に歯止めをかけるとともに、新たなまちづくりと連動した商店街の構築等によるにぎわいの回復や地域の特性を生かした産業の振興を支援する。 <u>また、沿岸地域と内陸地域との連携によるものづくり体制の強化や、地域特性</u>	文言整理 取組項目②ものづくり産業の新生に係る記述を追加

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
			<u>を生かした科学技術や学術研究等により地域経済の活性化を促進する。</u>	【復興委員会委員の意見】 取組項目②のものづくり産業の新生も盛り込むべき。
50 66	「中小企業等への 再建支援と復興に 向けた取組」 緊急的な取組		・放射性物質に係る安全対策と風評被害 を払拭するための取組の推進	取組の追加 【パブリックコメントの意見】 放射能の風評被害対策も盛り込むべき。 県民や国内外に放射能の影響をタイム リーに発信するシステムを構築すべき。
52 67	「ものづくり産業 の新生」 緊急的な取組		・放射性物質に係る安全対策と風評被害 を払拭するための取組の推進	取組の追加 【パブリックコメントの意見】 放射能の風評被害対策も盛り込むべき。 県民や国内外に放射能の影響をタイム リーに発信するシステムを構築すべき。
52	中期的な取組 3～4 行目	・産学官連携による産業人材の育成や、 地域の特性を生かした科学技術や学術 研究による三陸の振興	・産学官連携による産業人材の育成や、 <u>国際リニアコライダー（ILC）の誘致</u> など、地域の特性を生かした科学技術や 学術研究による <u>岩手・三陸の振興</u>	復興特区で要望している国際リニアコ ライダーの誘致を明示
52	復興への歩み 3 段 目の矢印	産学官連携等による産業人材の育成や、 科学技術・学術研究による三陸の振興	産学官連携等による産業人材の育成や <u>ILCの誘致</u> など科学技術・学術研究に よる <u>岩手・三陸の振興</u>	復興特区で要望している国際リニアコ ライダーの誘致を明示
55	概要 1 行目	震災被害等により沈滞する・・・	今回の大震災津波被害等により沈滞す る・・・	文言精査による修正
55 68	「復興の動きと連 動した全県的な誘 客への取組」		・放射性物質に係る安全対策と風評被害 を払拭するための取組の推進	取組の追加 【パブリックコメントの意見】 放射能の風評被害対策も盛り込むべき。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	緊急的な取組			県民や国内外に放射能の影響をタイムリーに発信するシステムを構築すべき
56	中・長期的な取組 7行目	(記載なし)	・災害時に有効な情報収集手段となるラジオの難聴地域の解消等の整備促進	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 災害時に強い伝達ツールとして、県域ラジオ放送の必要性を取り入れて欲しい。
56	中・長期的な取組み 12行目	太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを活用し、非常時においても一定のエネルギーを賄えるシステムの導入促進	本県に豊富に賦存する太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを最大限活用するとともに、それらのエネルギーにより、防災拠点や住宅・事業所等が非常時においても一定のエネルギーを賄えるシステムの導入促進	県議会、パブリックコメント等の意見の対応
57	「故郷への思いを生かした豊かで快適な生活環境づくり」 中・長期的な取組	震災の記憶を未来へ語り継ぎ故郷への思いを継承するイベントの実施や・・・	今回の大震災津波の記憶を未来へ語り継ぎ故郷への思いを継承するイベントの実施や・・・	文言精査による修正
57	「災害に強い交通ネットワークの構築」 中・長期的な取組	いわて花巻空港の航空ネットワークの充実	(削除)	・災害に強い交通ネットワークづくりとの関連性が薄いことから削除 ・航空ネットワークの充実については、災害対応という観点ではなく、県内の産業や観光の回復の動きと連携して一般的な取り組みとして行っていくものであるため、項目から削除する。
58	「被災者の生活の	住まいに関する相談窓口の開設	被災者の生活の安定に向けて、住まいや	31頁の表現に統一

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	安定と住環境の再検討への支援」 緊急的な取組 10行目		<u>生活全般に関する様々な相談に対応できる体制を整備</u>	
58	「被災者の生活の安定と住環境の再建等への支援」 短期的な取組 中・長期的な取組	(記載なし)	《短期的な取組》 <u>被災者の生活の再建に向けた相談支援</u> 《中・長期的な取組》 <u>被災者の生活の再建に向けた相談支援(再掲)</u>	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 短期的及び中期的な取組に「被災者の生活の安定に向けて、住まいや生活全般に関する様々な相談及び支援に対応できる体制を整備」を加えるべき。
58	「被災者の生活の安定と住環境の再検討への支援」 短期的な取組 3行目	安全で良質な災害公営住宅等の公的賃貸住宅の供給の推進	安全で良質な災害復興公営住宅等の公的賃貸住宅の供給の推進	文言整理
59	・項目Ⅱタイトル ・取組項目①タイトル ・短期的な取組 1行目	保健医療・福祉	保健・医療・福祉	個別具体的な取組レベルでは「保健」と「医療」が分かれるものもあり、統一して区分した方がわかりやすいと判断したものの
59	・緊急的な取組 3行目	<u>地域医療を担う診療所等の復旧への支援</u>	「 <u>かかりつけ医</u> 」など住民に身近な医療を担う診療所等の復旧への支援	医療分野専門家会議での意見を反映したものの
59	・緊急的な取組 4行目	<u>介護、訪問看護等の</u>	<u>相談、デイサービス、訪問介護・看護、生活支援等を包括的に提供する</u>	市町村におけるサービス提供実態に合わせて修正するもの
60	・短期的な取組 4行	「子どものこころのケアセンター」(仮)	「子どものこころのケアセンター」	センターの名称が決定したため

頁数	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	目 ・中・長期的な取組 6行目	称)」		
60	中・長期的な取組 8行目	親族里親等による家庭的な養護の継続	被災孤児に対する親族里親等による家庭的な養護の継続	文言精査による修正
61	「きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実」 短期的な取組 1行目	「いわて子どものこころサポートチーム」による県内公立学校への派遣	「いわて子どものこころのサポートチーム」を県内公立学校に派遣	分かりやすい表現に修正
61	「きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実」 中・長期的な取組 2行目	「いわての復興教育」の充実と各学校の取組支援	「いわての復興教育」の充実と各学校の取組を支援	分かりやすい表現に修正
61	「文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承」 短期的な取組 2行目	文化芸術活動等の鑑賞や交流の場の提供による被災者等の支援	文化芸術の鑑賞機会や交流の場の提供による被災者等の支援	分かりやすい表現に修正
61	「社会教育・生涯学習環境の整備」 短期的な取組 4行目	教育振興運動による地域づくりの推進	教育振興運動の取組体制の再構築の支援	分かりやすい表現に修正
63	「地域コミュニテ	◆地域の伝統行事、伝統芸能等の地域資	(削除)	短期的な取組に前倒し

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
	イの再生・活性化」 中・長期的な取組	<u>源を生かした地域づくり活動への支援</u>		
64	「産地魚市場を核とした流通・加工体制の構築」 短期的な取組	水産物の水揚げの <u>状況</u> や・・・	水産物の水揚げ <u>状況</u> や・・・	文言整理
65	「漁港等の整備」 緊急的な取組	災害廃棄物	災害廃棄物（ <u>がれき</u> ）	文言整理
65	「漁港等の整備」 短期的な取組	漁船の <u>安全性</u> 確保等の・・・	漁船の <u>安全</u> 確保等の・・・	文言整理
65	「漁港等の整備」 短期的な取組	漁村生活環境 <u>整備</u> 、・・・	漁村生活環境 <u>基盤</u> 、・・・	文言整理
65	「地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業の実現」 中・長期的な取組	気象特性等を生かした園芸産地の形成や、畜産業や食産業等の・・・	気象特性を生かした園芸産地の形成や、畜産業・食産業等の・・・	文言整理
67	中・長期的な取組 6行目	三陸の資源や特性を生かした科学技術振興や学術研究とその拠点形成	<u>国際リニアコライダ</u> ーの誘致など、 <u>岩手・三陸</u> の資源や特性を生かした科学技術振興や学術研究とその拠点形成	復興特区で要望している国際リニアコライダの誘致を明示
68	「復興の動きと連動した全県的な誘客への取組」 緊急的な取組		<u>放射性物質に係る安全対策と風評被害を払拭するための取組の推進</u>	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 放射能の風評被害対策も盛り込むべき。 県民や国内外に放射能の影響をタイムリーに発信するシステムを構築すべき。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
68	「復興の動きと連動した全県的な誘客への取組」 中・長期的な取組	◆復興支援の交流をベースとしたツアーや復興支援番組・映画の誘致など、交流連携による観光の振興	◆復興支援の交流をベースとしたツアーや、全国・国際規模の会議、大会等の誘致などによる観光の振興 ◆テレビ番組や映画などのロケ地として選択されるような魅力あるまちづくりの促進	パブリックコメントへの対応 【パブリックコメントの意見】 全国規模の会議やセミナー、各種大会、また、国際的な学会などが沿岸各地で継続して開催されるよう働きかけてはどうか。
69	1行目～	(省略)	(「1「三陸創造プロジェクト」の考え方」として、横断性、創造性、独自性、長期性、多様な主体との連携の5つの特徴を明確化。)	復興に向けたリーディング・プロジェクトとしての「三陸創造プロジェクト」の考え方を明確化
69	17行目～	記載なし	(「2「三陸創造プロジェクト」の内容」として、5つのプロジェクトを掲げること、「開かれた復興」として幅広い意見等を伺いながら磨き上げていくこと、今後プロジェクトの追加、取組項目の修正等があることを明確化。)	「三陸創造プロジェクト」の検討、具体化の進め方等を明確化
70	1行目～	【科学技術分野】	科学技術分野『国際研究交流拠点形成』プロジェクトとして記載（内容の具体化）	【復興特区の反映】 TOHOKU 国際科学技術研究特区を踏まえたプロジェクトの具体化 【パブリックコメントの意見】 自然エネルギーやバイオマスエネルギーの利活用、特区制度の活用により未来型のニュータウン作りを進めてほしい。
71	1行目～	【環境共生・自然エネルギー分野】	環境共生・再生可能エネルギー分野『さんりくエコタウン形成』プロジェクトと	【復興特区の反映】 再生可能エネルギー導入促進特区を踏

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
			して記載（内容の具体化）	まえたプロジェクトの具体化 【パブリックコメントの意見】 自然エネルギーやバイオマスエネルギーの利活用、特区制度の活用により未来型のニュータウン作りを進めてほしい。
72	8行目～	【津波災害の次世代への継承】	津波災害の次世代への継承『 <u>東日本大震災津波伝承まちづくり</u> 』プロジェクトとして記載（内容の具体化）	【パブリックコメントの意見】 子世代、孫世代へと津波の恐ろしさを伝え、継承していってもらうことが必要ではないか。その1つとして、「津波防災館」などの社会教育施設の整備をして欲しい。
73	16行目～	【産業振興分野】	産業振興分野『 <u>さんりく産業振興</u> 』プロジェクトとして記載（内容の具体化）	【パブリックコメントの意見】 6次産業化の推進（体験、直売、加工、観光）等、三陸ブランドを世界に発信、大地と海をブレンドした加工業の振興、最新の冷凍技術等の活用等も図るべき。
75	23行目～	【新たな交流による地域づくり】	新たな交流による地域づくり『 <u>新たな交流による地域づくり</u> 』プロジェクトとして記載（内容の具体化）	【パブリックコメントの意見】 外国人を含め多くの人々が被害の実態と復旧の動きを見たいと思われるので、観光（誘客）の取組に結びつけるべきではないか。
76	（タイトル）	復興に向けた連携等	復興の <u>進め方</u>	第6章では、復興に向けた連携に加えて、計画の進行管理等も盛り込んでいることから、タイトルを変更して内容と一致させるもの。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
				【復興委員会委員の意見】 第6章のタイトルと内容の意味が合致していないことから、修正すべき。
76	2 県民、関係団体、企業、NPO、高等教育機関など県内外の多様な主体との連携 10～13行目	(記載なし)	<u>また、被災に伴い、地域や職場、家庭でのつながりが薄れることによって社会的な孤立が生じることが懸念されており、こうした課題に対応し、被災者一人ひとりにとっての復興を実現するため、女性や高齢者、障がい者、子ども、若者、外国人県民等の視点も含めた、社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の観点に立った取組の展開が図られるよう留意する。</u>	大震災津波の発生により、「社会的排除」のリスクが高まる恐れがあり、高齢者や障がい者、女性、外国人、子ども、若者等を含めた社会的包摂の考え方を踏まえた復興の施策展開が必要である。 【パブリックコメントへの対応】 復興のあらゆる分野に男女共同参画をはじめとする人の多様性の視点を盛り込むべき。
78	17行目	(記載なし)	6 <u>復興財源の確保</u> <u>復興のためには、国庫補助負担率の引き上げや補助対象の拡大、採択基準の弾力化等、国の力強い支援を基本とした措置の創設が不可欠であり、国に対して強く要請していく。</u> <u>国庫補助負担率の引き上げや補助対象の拡大がなされた場合でも、地方が負担する費用は膨大となることから、地方負担に対する財源措置の充実・確保が必要である。また、復興一括交付金など地方の創意工夫を発揮させる自由度の高</u>	大震災からの復興に当たっては、地域が主体となり復旧・復興を迅速に進める措置の創設等を国に働きかけるとともに、県の独自課税を用途の範囲内において活用することが必要である。 【地域説明会での意見】 国への要望だけでなく、財源の裏付けがほしい。

ページ	行数等	現行記載内容	変更後記載内容	変更理由
			<p><u>い仕組みの創設なども必要であることから、これらについて引き続き国に対して強く要請していく。</u></p> <p><u>また、本県では、独自課税として、「いわての森林づくり県民税」及び「産業廃棄物税」を実施し、それぞれの課税目的に則した施策を展開してきたところであるが、これらの税収についても、制度趣旨に基づく範囲において復興のために活用していく。</u></p>	
79～	附属資料	(略)	(略)	所要の整理
94～	付録 用語説明	(記載なし)	(略)	用語説明を追加